第１号議案

2005年度事業報告

Ⅰ　会員の異動状況

（2006年３月１日現在）

1.　会員の異動	前年度末	入会・就任	退　会（会費滞納による退会を含む）	物故者	現在数
(1) 正 会 員	21,633 名	718 名	449 名	21 名	22,673 名
(2) 名誉会員	29 名	1 名	1 名	1 名	28 名
(3) 特別会員	43 名	0 名	0 名	0 名	43 名
(4) 賛助会員(法人)	83 社	5 社	0 社	－	88 社

2.　役員・職員の異動	前年度末	就　任	退　任	物故者	現在数
(1) 理　　事	20 名	0 名	0 名	0 名	20 名
(2) 監　　事	2 名	0 名	0 名	0 名	2 名
(3) 幹　　事	20 名	1 名	0 名	0 名	21 名
(4) 評 議 員	220 名	6 名	6 名	0 名	220 名
(5) 正会員代表	200 名	15 名	15 名	1 名	199 名
(6) 事務局職員	12 名	3 名	1 名	0 名	14 名

3.　物故会員(敬称略)

(1) 名誉会員　日比野　進

(2) 特別会員　－

(3) 一般会員　安部　行弘　安藤　正彦　井上　実　遠藤　閑夫　大串　正道
甲斐　義宏　加藤　達夫　北里　勝史　後藤　善昭　須賀　義之
多田　道彦　常本　實　中川　立一　仁木偉瑳夫　布山　博士
廣田　久雄　前田　朋大　牧野　正人　渡辺　洋宇

Ⅱ　会議の事項

(1) 第 70 回 総 会：	2006年３月25日	愛知県・名古屋国際会議場
(2) 理 事 会：	2005年６月24日	東京都・東京国際フォーラム
	2005年10月14日	東京都・コンファレンススクエアエムプラス
	2006年１月20日	東京都・東京国際フォーラム
	2006年３月23日	愛知県・名古屋マリオットアソシアホテル
(3) 評 議 員 会：	2006年３月24日	愛知県・ホテルグランコート名古屋
(4) 総 務 委 員 会：	2005年６月24日	東京都・東京国際フォーラム
	2005年10月14日	東京都・コンファレンススクエアエムプラス
	2006年１月20日	東京都・東京国際フォーラム
	2006年３月23日	愛知県・名古屋マリオットアソシアホテル
・規約審議部会：	－	
・資料編纂小委員会：	2005年６月24日	東京都・東京国際フォーラム
	2005年９月19日	大阪府・リーガロイヤルホテル
	2005年10月14日	東京都・コンファレンススクエアエムプラス
	2006年１月20日	東京都・東京国際フォーラム
	2006年３月23日	愛知県・名古屋マリオットアソシアホテル
(5) 財 務 委 員 会：	2005年６月17日	京都府・(財)近畿地方発明センター
	2005年10月７日	京都府・(財)近畿地方発明センター
	2006年１月10日	京都府・(財)近畿地方発明センター
	2006年３月17日	京都府・(社)日本循環器学会

(6) 監　　査　　会：2005年6月17日　京都府・(財)近畿地方発明センター
2005年10月7日　京都府・(財)近畿地方発明センター
2006年1月10日　京都府・(財)近畿地方発明センター
2006年3月17日　京都府・(社)日本循環器学会
(7) 予　算　委　員　会：2005年11月25日　京都府・(財)近畿地方発明センター
(8) 編　集　委　員　会：2005年6月24日　東京都・東京国際フォーラム
2006年1月20日　東京都・東京国際フォーラム
2006年3月23日　愛知県・名古屋マリオットアソシアホテル
(9) 学　術　委　員　会：2005年6月24日　東京都・東京国際フォーラム
2005年10月14日　東京都・コンファレンススクエアエムプラス
2006年1月20日　東京都・東京国際フォーラム
2006年3月23日　愛知県・名古屋マリオットアソシアホテル
・心不全部会・電気生理/不整脈部会合同会議：
2005年12月10日　大阪府・大阪大学中之島センター
(10) 専門医制度委員会：2005年6月24日　東京都・東京国際フォーラム
2005年10月14日　東京都・コンファレンススクエアエムプラス
2006年1月20日　東京都・東京国際フォーラム
2006年3月23日　愛知県・名古屋マリオットアソシアホテル
・認定試験委員会：2005年9月26日　東京都・八重洲富士屋ホテル
・専門医編集委員会：2005年6月24日　東京都・東京国際フォーラム
2005年10月14日　東京都・コンファレンススクエアエムプラス
・専門医実務委員会：2005年4月9日　東京都・都市センターホテル
2005年5月14日　京都府・新・都ホテル
2005年7月18日　京都府・新・都ホテル
2005年12月12日　京都府・新・都ホテル
2006年2月13日　東京都・八重洲富士屋ホテル
(11) 教育研修委員会：2005年6月24日　東京都・東京国際フォーラム
2005年10月14日　東京都・コンファレンススクエアエムプラス
2006年1月20日　東京都・東京国際フォーラム
2006年3月23日　愛知県・名古屋マリオットアソシアホテル
・禁煙推進委員会：2005年9月21日　大阪府・大阪国際会議場
2006年1月20日　東京都・東京国際フォーラム
2006年3月25日　愛知県・名古屋国際会議場
・心肺蘇生法普及委員会：
2005年7月14日　東京都・八重洲富士屋ホテル
2005年12月21日　東京都・コンファレンススクエアエムプラス
2006年2月22日　東京都・東京コンファレンスセンター品川
・AED検討委員会：2005年7月23日　東京都・八重洲富士屋ホテル
2006年3月26日　愛知県・名古屋国際会議場
(12) 健保対策委員会：2005年6月24日　東京都・東京国際フォーラム
2006年3月23日　愛知県・名古屋マリオットアソシアホテル
(13) 心臓移植委員会：2005年6月24日　東京都・東京国際フォーラム
2005年10月14日　東京都・コンファレンススクエアエムプラス
2006年1月20日　東京都・東京国際フォーラム
2006年3月23日　愛知県・名古屋マリオットアソシアホテル
・適応検討小委員会：－
・心肺同時移植適応検討小委員会：－

⑭ 医療倫理委員会：2005年6月24日　東京都・東京国際フォーラム
2006年1月20日　東京都・東京国際フォーラム
⑮ 情報広報委員会：2005年6月24日　東京都・東京国際フォーラム
2006年3月23日　愛知県・名古屋マリオットアソシアホテル
・ホームページコンテンツ小委員会：
2006年1月20日　東京都・東京国際フォーラム
⑯ 国際交流委員会：2005年5月27日　東京都・財団法人日本心臓財団
2005年6月24日　東京都・東京国際ファーラム
2005年10月14日　東京都・コンファレンススクエアエムプラス
2006年1月20日　東京都・東京国際フォーラム
2006年3月23日　愛知県・名古屋マリオットアソシアホテル
⑰ 支部長会議：2005年6月24日　東京都　東京国際フォーラム
2006年3月23日　愛知県・名古屋マリオットアソシアホテル
⑱ 学術集会運営委員会：2005年6月24日　東京都・東京国際フォーラム
2005年10月14日　東京都・コンファレンススクエアエムプラス
2006年1月20日　東京都・東京国際フォーラム
2006年3月23日　愛知県・名古屋マリオットアソシアホテル
・学術集会プログラム小委員会：
2005年9月19日　大阪府・大阪国際会議場
2005年12月16日　大阪府・大阪国際会議場
⑲ 中央選挙管理委員会：－
⑳ 用語委員会：2005年6月24日　東京都・東京国際フォーラム
2005年10月14日　東京都・コンファレンススクエアエムプラス
・用語実務委員会：（第4回循環器学用語合同委員会）
2006年3月23日　愛知県・名古屋マリオットアソシアホテル

1. 日本循環器学会年次学術集会

第70回記念日本循環器学会総会・学術集会
会期：2006年３月24日（金）～３月26日（日）
会長：藤原久義(岐阜大学大学院再生医科学循環病態学)
会場：名古屋国際会議場
メインテーマ：
循環器学の過去・現在・未来
－未来のために今，何をすべきか－
The Past, Present and Future of Cardiology: Building for the Future
一般演題（口述，ポスター，Featured Research Session）
美甘レクチャー
Treatment of Congestive Heart Failure
Bertram Pitt（University of Michigan Medical School, USA）
真下記念講演
循環器再生医学を支えるTissue Engineeringの最前線
田畑　泰彦（京都大学再生医科学研究所生体組織工学研究部門生体材料学分野）
特別講演
・Regeneration Therapy for Acute Myocardial Infarction
AM. Zeiher（J. W. Goethe University, Germany）
・Atherosclerosis（atherogenic process）
Peter Libby（Brigham and Women's Hospital, USA）
・Coronary Artery Disease（Pharmacology, EUROPA）
WJ Remme（Sticares Cardiovascular Research Foundation, The Netherlands）
・Mechanisms of Atrial Fibrillation in the Human Heart: Translating Knowlege from the Bench to the Bedside
Jose Jalife（SUNY Health Science Center, USA）
・Cardiac Function－Integrated Physiology－
Stephen F. Vatner（Cardiovascular Research Institute, USA）
・Genetic Basis and Clinical Features of Cardiomyopathy
Christine E. Seidmann（Brigham and Women's Hospital, Harvard Medical School, USA）

会長講演
Regeneration Medicine as the Ultimate Medicine
藤原久義(岐阜大学大学院再生医科学循環病態学)

プレナリーセッション
1．薬剤溶出性ステント以後のPCI治療戦略
（New Strategy of Coronary Intervention in DES Era）
2．Brugada症候群：基礎と臨床
（Brugada Syndrome: From Cell to Bedside）
3．細胞死と修復－心疾患における再生－
（Cell Death and Repair-Regeneration in Cardiac and Vascular Diseases）
4．メタボリックシンドロームの分子機序と治療の最前線
（New Horizons in the Metabolic Syndrome: －Molecular Mechanisms and Therapies）
5．心室再同調療法を中心とした集学治療の組み立て方
（Comprehensive Treatment Centered on Biventricular Resynchronization Therapy）
6．ロボット・ITと循環器医療の未来
（Robotics and Information Technologies（IT）in the Field of Cardiovascular Medicine）
シンポジウム
1．不整脈非薬物療法の適応と限界
（Nonpharmacologic Treatment of Arrhythmias: Indications and Limitations）
2．冠動脈疾患に対する薬理学的インターベンション
（Pharmacological Intervention for Coronary Artery Disease）
3．血管新生に関する新しい基礎および臨床知見
（Angiogenesis-Clinical and Experimental New Findings）
4．わが国の喫煙の現状と循環器疾患に対するリスクと対策
（Tobacco Free Symposium: The Present Condition of Tobacco Control in Japan, the Risk of Smoking to Cardio-and Cerebro-Vascular Diseases, and Its Counter Measure）
5．高血圧性心臓病と心不全発症機序
（Molecular Mechanism of Hypertensive Heart Failure）
6．急性冠症候群の予知
（Prediction of Acute Coronary Syndrome）
7．循環器疾患の画像診断の進歩
（Advances in Cardiovascular Imaging）
8．循環器診療のコストを考える
（Costs of Clinical Practice in Cardiovascular

Diseases)
9．循環器領域における海外と国内のエビデンスの比較
(Comparison between Domestic and Overseas Clinical Evidence in Cardiology)
10．循環器疾患・リスクファクター頻度の将来予測と対策
(Long-Term Prediction and Prevention of Cardiac Diseases and the Risk Factors)
11．先天性心疾患術後長期における再介入：再手術とカテーテルインターベンション
(Re-Intervention Long after Intracardiac Repair for Congenital Heart Disease)
12．日本人の慢性心不全の特徴とそれに基づく治療戦略
(Characteristics and Management Strategies of Chronic Heart Failure in the Japanese)

ジョイント・シンポジウム
1．AHA-JCS Joint Symposium
Cardiac Regeneration
2．ACC-JCS Joint Symposium
New Diagnostic and Therapeutic Strategies for Ischemic Mitral Regurgitation
3．ESC-JCS Joint Symposium
Autoimmunity in the Heart
4．WHF-JCS Joint Symposium
World Heart Day: Prevention and Control of Cardiovascular Disease
5．APSC-JCS Joint Symposium
Advancement of Echocardiography

ラウンドテーブルディスカッション
1．ナトリウム利尿ペプチド臨床応用の新展開
2．バイオケミカルマーカからみた循環器疾患の診断と新しい方向性
3．高血圧診療で内心疑問に思っていること
4．画像診断の進歩
5．PCIをめぐる諸問題
6．日本のACSに対するBest Strategy－臨床最前線からの提案
7．世界をリードする日本のハイテク循環器医学
8．冠攣縮性狭心症に対するCa拮抗薬治療はいつまで続けるか
9．肺血栓塞栓症：現状と展望
10．循環器疾患ゲノム研究の現状と展望

トピックス
コントロバーシー
ミートザエキスパート
Late Breaking Clinical Trials in Japan
モーニングレクチャー
Featured Research Session
第34回循環器教育セッション
1．「心不全の治療－薬物療法から非薬物療法まで－」
2．「メタボリック・シンドローム－本邦の診断基準－」
3．「不整脈の治療－薬物療法から非薬物療法まで－」

サテライトセミナー（ランチョンセミナー，ファイアサイドセミナー）
市民公開講座：「心と食生活の重要性－生活習慣病予防を目指して－」
市民のための記念イベント：「ハート博2006」
第5回禁煙推進セミナー
「医療従事者の喫煙状況と禁煙指導」
第4回禁煙推進市民公開講座
「タバコの歴史と現状－禁煙に向けて－」
第4回心肺蘇生法市民公開講座
「つなげ！命の鎖」
心肺蘇生法医師向けセミナー
「心肺蘇生法の新しい潮流」
医療倫理に関する講演会
「最近の医療訴訟における裁判所の傾向」
第2回心臓移植セミナー
「植込み型補助心臓の現状と今後の課題」
保険医療セミナー
「新しい治療法の保険収載を考える」
ガイドラインに学ぶ
ガイドライン解説
循環器病研究の進歩
コメディカルセッション
ライブデモンストレーション
サテライトセミナー（ランチョンセミナー，ファイアサイドセミナー）：会期中3日間
第70回記念特別展示「日本循環器学会70年のあゆみと将来の展望」
機器・書籍展示

第31回日本心臓財団佐藤賞
選考委員長　藤原久義(岐阜大学再生医科学循環病態学)
・山田芳司(三重大学生命科学研究支援センターヒト機能ゲノミクス部門)
循環器疾患の遺伝因子の解明と遺伝子リスク診断システムの開発

第23回Young Investigator's Award　●最優秀賞
選考委員長　横山光宏(神戸大学循環呼吸器病態学)
・家田真樹(慶應義塾大学循環器内科)
Nerve Growth Factor is Critical for Cardiac Sensory Innervation and Rescues Neuropathy in Diabetic Hearts
・大谷規彰(九州大学循環器内科学)
Stent-based Local Delivery of Nuclear Factor-κB Decoy Attenuates In-stent Restenosis in Hypercholesterolemic Rabbits
・冨田雄一(慶應義塾大学循環器内科)
Cardiac Neural Crest Cells Contribute to the Dormant Multipotent Stem Cell in the Mammalian Hheart
●内藤篤彦(千葉大学循環病態医科学)
Developmental Stage-specific Role of Wnt/β-catenin Signaling in Cardiac Myogenesis

第4回国際留学生Young Investigator's Award
●最優秀賞
選考委員長　小川　聡(慶應義塾大学呼吸循環器内科)
・成　憲武(名古屋大学循環器ゲノム応用診断学)
Expression of the Lysosomal Cysteine Proteases Cathepsin S in the Left Ventricular Myocardium of Rats and Humans and Its Regulation in Cardiac Myocytes
・權　相模(東海大学再生医療科学)
Lnk Adaptor Protein Regulates the Signal Cascade of Mobilization, Differentiation, Proliferation and Neovascularization of Endothelial Progenitor Cells (EPCs)
●李　龍虎(岐阜大学第二内科)
Preventive Effect of Erythropoietin on Cardiac Dysfunction in Doxorubicin-induced Cardiomyopathy
・梁　景岩(筑波大学先端応用医学)
Increased Macrophage Elastase (MMP-12) Enhances the Progression of Atherosclerosis in Transgenic Rabbits
・Renan Sukmawan(川崎医科大学生理系循環機能生理学)
Scavenging Reactive Oxygen Species by Edaravone Preserves Coronary Microvascular Endothelial Function Myocardial eNOS Expression on Ischemia/Reperfusion Injury in Vivo Beating Canine Heart

第14回CPIS賞
選考委員長　堀　正二(大阪大学循環器内科学)
・秦　穎潔(千葉大学循環病態医科学)
G-CSF Prevents Cardiac Remodeling after Myocardial Infarction by Activating the Jak-Stat Pathway in Cardiomyocytes

第15回八木賞
選考委員長　土居義典(高知大学老年病科循環器科)
・中神啓徳(大阪大学遺伝子治療学)
Identification of a Novel Angiogenic Peptide, AG-30

第6回高安賞
選考委員長　吉川純一(大阪掖済会病院)
・大門雅夫(千葉大学循環器内科)
Percutaneous Mitral Valve Repair for Chronic Ischemic Mitral Regurgitation
A Real-Time Three-Dimensional Echocardiographic Study in an Ovine Model

第1回心臓血管外科賞
選考委員長　北村惣一郎(国立循環器病センター)
・安達偉器(国立循環器病センター心臓血管外科)
Fontan Operation with a Viable and Growing Conduit Using Pedicled Autologous Pericardial Roll: Serial Changes in Conduit Geometry

第1回小児循環器賞
選考委員長　中澤　誠(東京女子医科大学循環器小児科)
・横山詩子(横浜市立大学循環制御医学)
Prostaglandin Promotes Hyaluronic Acid-induced Neointimal Formation in Ductus Arteriosus

第2回Circulation Journal Award
選考委員長　松﨑益徳(山口大学循環病態内科学)

Clinical Investigation
最優秀賞
・波多野靖幸(山口大学医学部　器官制御医科学講座　循環病態内科学)
Can　Transthoracic Doppler Echocardiography Predict the Discrepancy Between Left Ventricular End-Diastolic Pressure and Mean Pulmonary Capillary Wedge Pressure in Patients With Heart Failure? (Circ J 2005; 69: 432- 438)

優秀賞
・中谷矩章(中谷内科クリニック　内科)
Large-Scale Cohort Study on the Relationship Between Serum Lipid Concentrations and Risk of Cerebrovascular Disease Under Low-Dose Simvastatin in Japanese Patients With Hypercholesterolemia
－Sub-Analysis of the Japan Lipid Intervention

Trial (J-LIT)－(Circ J 2005; 69: 1016-1021)
Experimental Investigation
最優秀賞
・池田義之(鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 循環器呼吸器代謝内科学)
Repeated Sauna Therapy Increases Arterial Endothelial Nitric Oxide Synthase Expression and Nitric Oxide Production in Cardiomyopathic Hamsters(Circ J 2005; 69: 722-729)
優秀賞
・網野真理(名古屋大学環境医学研究所 循環器科)
Combined Effects of Nifekalant and Lidocaine on the Spiral-Type Re-Entry in a Perfused 2-Dimensional Layer of Rabbit Ventricular Myocardium(Circ J 2005; 69: 576 - 584)
優秀賞
・谷本圭司(京都大学大学院医学研究科 麻酔科)
SOCS1/JAB Likely Mediates the Protective Effects of Cardiotrophin-1 Against Lipopolysaccharide-Induced Left Ventricular Dysfunction in Vivo(Circ J 2005; 69: 1412 - 1417)

2. 日本循環器学会地方学術集会

第93回北海道地方会
会期：2005年6月11日(土)
会場：札幌市教育文化会館(札幌市)
会長：伊藤一輔(函館病院副院長)
参加人数：190名
発表演題：43題

第94回北海道地方会
会期：2005年10月1日(土)
会場：大雪クリスタルホール(旭川市)
会長：菊池健次郎(旭川医科大学第一内科)
参加人数：110名
発表演題：42題

第140回東北地方会
会期：2005年6月11日(土)
会場：平盛勝彦(岩手医科大学第二内科)
会長：岩手医科大学附属循環器医療センター(盛岡市)
参加人数：122名
発表演題：52題

第141回東北地方会
会期：2006年2月4日(土)
会場：仙台国際センター(仙台市)
会長：丸山幸夫(福島県立医科大学第一内科)
参加人数：121名
発表演題：73題

第196回関東甲信越地方会
会期：2005年6月4日(土)
会場：文京区民センター(文京区)
会長：三宅良彦(聖マリアンナ医科大学)
参加人数：565名
発表演題：108題

第197回関東甲信越地方会
会期：2005年10月1日(土)
会場：文京区民センター(文京区)
会長：住吉徹哉(榊原記念病院)
参加人数：521名
発表演題：111題

第198回関東甲信越地方会
会期：2005年12月10日(土)
会場：ラフレさいたま(さいたま市)
会長：林　輝美(獨協医科大学越谷病院循環器内科)
参加人数：377名
発表演題：96題

第199回関東甲信越地方会
会期：2006年2月4日(土)
会場：日本大学会館(千代田区)
会長：長尾　建(駿河台日本大学病院救命救急センター)
参加人数：543名
発表演題：106題

第125回東海地方会
会期：2005年6月11日(土)
会場：三重県医師会館, 赤十字血液センター(津市)
会長：伊藤正明(三重大学第一内科)
参加人数：337名
発表演題：123題

第110回北陸地方会
会期：2005年7月10日(日)
会場：金沢大学医学部十全講堂(金沢市)
会長：高田重男(金沢大学保健学科)
参加人数：90名
発表演題：60題

第126回東海・第111回北陸合同地方会
会期：2005年11月5日(土)～6日(日)
会場：中小企業振興会館(名古屋市)
会長：児玉逸雄(名古屋大学環境医学研究所循環器分野)
参加人数：562名
発表演題：165題

第99回近畿地方会
会期：2005年６月18日（土）
会場：大阪国際交流センター（大阪市）
会長：土師一夫（大阪市立総合医療センター）
参加人数：762名
発表演題：182題
第100回近畿地方会
会期：2005年12月10日（土）
会場：奈良県新公会堂（奈良市）
会長：斉藤能彦（奈良県立医科大学第一内科）
参加人数：550名
発表演題：170題
第86回中国地方会
会期：2005年５月28日（土）
会場：ビッグハート出雲（出雲市）
会長：樋上哲哉（島根大学循環器・消化器総合外科学）
参加人数：256名
発表演題：124題
第86回四国地方会
会期：2005年６月４日（土）
会場：徳島県郷土文化会館（徳島市）
会長：大木　崇（東徳島病院院長）
参加人数：242名
発表演題：87題
第87回中国・四国合同地方会
会期：2005年11月25日（金）～26日（土）
会場：サンポートホール高松（高松市）
会長：水重克文（高松東病院院長）
参加人数：530名
発表演題：246題
第98回九州地方会
会期：2005年６月25日（土）
会場：アクロス福岡（福岡市）
会長：朔啓二郎（福岡大学第二内科）
参加人数：594名
発表演題：132題
第99回九州地方会
会期：2005年12月３日（土）
会場：佐賀市文化会館（佐賀市）
会長：野出孝一（佐賀大学循環器・腎臓内科）
参加人数：509名
発表演題：134題

3. 学術研究班

1．虚血性心疾患に対するバイパスグラフトと手術術式の選択ガイドライン
（班長：北村惣一郎）
2．心臓血管疾患における遺伝学的検査と遺伝カウンセリングに関するガイドライン
（班長：中澤　誠）
3．電気生理学的検査と治療のガイドライン
（班長：山口　巌）
4．循環器診療における放射線被爆に関するガイドライン
（班長：永井良三）
5．QT延長症候群（先天性・二次性）とBrugada症候群の診療に関するガイドライン
（班長：大江　透）
6．失神の診断・治療ガイドライン
（班長：井上　博）
7．先天性心疾患術後遠隔期の管理・侵襲的治療に関するガイドライン
（班長：越後茂之）
8．末梢閉塞性動脈疾患の治療ガイドライン
（班長：重松　宏）
9．心筋梗塞二次予防ガイドライン（改訂）
（班長：石川欽司）
10．急性心不全治療ガイドライン（改訂）
（班長：丸山幸夫）
11．成人先天性心疾患診療ガイドライン（改訂）
（班長：黒澤博身）
12．大動脈瘤・大動脈解離診療ガイドライン（改訂）
（班長：高本眞一）
13．心房細動治療（薬物）ガイドライン（改訂）
（班長：小川　聡）
14．不整脈の非薬物治療ガイドライン（改訂）
（班長：笠貫　宏）
15．虚血性心疾患の一次予防ガイドライン（改訂）
（班長：北畠　顕）
16．肺高血圧症治療ガイドライン（改訂））
（班長：中野　赳）

4. 循環器関連学会

第40回日本循環器病予防学会・日本循環器管理研究協議会
会期：2005年５月27日（金）～28日（土）
会場：横浜情報文化センター（横浜市）
会長：朽久保修（横浜市立大学情報システム予防医学）
第20回日本心臓ペーシング・電気生理学会
会期：2005年５月29日（日）～31日（火）
会場：宝塚ホテル（宝塚市）
会長：小坂井嘉夫（宝塚市立病院）
第14回日本心血管インターベンション学会
会期：2005年６月16日（木）～18日（土）

会場：セルリアンタワー東急ホテル（渋谷区）
会長：一色高明（帝京大学医学部付属病院循環器科）
第41回日本小児循環器学会
会期：2005年７月６日（水）～８日（金）
会場：京王プラザホテル（新宿区）
会長：石澤　瞭（国立成育医療センター循環器科）
第37回日本動脈硬化学会
会期：2005年７月14日（木）～15日（金）
会場：京王プラザホテル（新宿区）
会長：寺本民生（帝京大学内科）
第28回日本高血圧学会
会期：2005年９月15日（木）～17日（土）
会場：旭川市民文化会館（旭川市）
会長：菊池健次郎（旭川医科大学第一内科）
第53回日本心臓病学会
会期：2005年９月19日（月）～21日（水）
会場：大阪国際会議場（大阪市）
会長：堀　正二（大阪大学病態情報内科学）
第58回日本胸部外科学会
会期：2005年10月５日（水）～７日（金）
会場：岡山コンベンションセンター（岡山市）
会長：清水信義（岡山大学腫瘍・胸部外科学）
第22回日本心電学会
会期：2005年10月６日（木）～７日（金）
会場：富山国際会議場（富山市）
会長：井上　博（富山大学第二内科）
第9回日本心不全学会
会期：2005年10月20日（木）～22日（土）
会場：海峡メッセ下関（下関市）
会長：松崎益徳（山口大学循環病態内科学）
第46回日本脈管学会
会期：2005年12月１日（木）～３日（土）
会場：大阪国際交流センター（大阪市）
会長：中野　赳（三重大学第一内科）
第19回日本冠疾患学会
会期：2005年12月９日（金）～10日（土）
会場：大阪国際会議場（大阪市）
会長：（内科）野々木　宏（国立循環器病センター心臓血管内科）
（外科）小林順二郎（国立循環器病センター心臓血管外科）
第41回日本循環器病予防学会・日本循環器管理研究協議会
会期：2006年２月18日（土）
会場：名古屋大学医学部学内（名古屋市）
会長：豊嶋英明（名古屋大学公衆衛生学）

5. 循環器専門医制度

(1) 循環器専門医認定：2005年８月21日，日本都市センター会館（東京），レ・ルミエール（大阪）及びぱるるプラザ京都（京都）の３会場で第16回認定試験を実施，認定者は605名（2006年４月１日認定）．

(2) 循環器専門医認定更新：2006.4.1更新（1991・1996・2001年度認定）循環器専門医1,398名の認定更新及び2005.3.1（1990・1995・2000年度認定）循環器専門医27名の認定更新が承認された．

(3) 循環器研修施設指定：2006年度指定循環器研修施設は47施設の指定が承認された．

(4) 循環器研修関連施設指定：2006年度指定循環器研修関連施設は，48施設の指定が承認された．

(5) 循環器研修施設指定更新：2006年度循環器研修施設は499施設の指定更新が承認された．

(6) 循環器研修関連施設指定更新：2006年度循環器研修関連施設は129施設の指定更新が承認された．

※更新者数は2006年２月28日までに手続きを完了された方の数のみ掲載しております．2006年３月１日以降に手続きをされた方は掲載しておりませんのでご了承下さい．

(7) 『循環器専門医』刊行：専門医編集委員会より Vol.13 No.1，Vol.13 No.2 を出版．
Vol.13 No.1 は特集I＜基礎科学の進歩＞特集II＜第68回日本循環器学会学術集会＞（B5判200頁）
Vol.13 No.2 は特集＜第69回日本循環器学会学術集会＞（B5判220頁）．

(8) 専門医年度を本学会の会計年度と同様に4/1～3/31とすることとした．これは，認定更新条件の１つに「学会費の納入」があり，専門医年度と会計年度が異なる事による納入期限問題の混乱を避けるためである．また，研修/研修関連施設の指定期間も4/1～3/31に変更となった．

6. 国際学会後援等

(1) American Heart Association 78th Scientific Sessions, November 13-16, 2005, Dallas: TX, USA

(2) American College of Cardiology 54th Annual Scientific Sessions, March 11-14, 2006, Atlanta: GA, USA

(3) 27th European Society of Cardiology, September 3-7, 2005, Stockholm, Sweden

(4) The 1st Sino-Japan Cardiovascular Forum, November 4, 2005, Beijing, China

7. 機関誌刊行

(1) 機関誌 Circ. J. Vol. 69　2005年は12冊1,668頁，

平均発行部数約22,000部，原著投稿論文281件1,564頁(93.76%)，その他104頁(6.24%)を掲載.

(2) 和文誌 Circ. J. Supplement は，4冊1,446頁，平均発行部数22,000部，年次学術集会和文抄録2,470件634頁(43.85%)，地方会学術集会抄録1,970件236頁(16.32%)，学術委員会ガイドライン439頁(30.36%)，その他137頁(9.47%)を掲載.

(3) 2004年の投稿論文(Regular Paper, Case Report)は，受付469件，採用は220件，不採用244件(辞退を含む)で，採択率はRegular Paperは58.84%，Case Reportは14.29%であった.
また，Rapid Communicationは，受付5件，採用5件，不採用0件で，採択率は100.00%であった.

(4) 2005年の投稿論文(Regular Paper, Case Report)は，受付568件，内2006年2月23日現在までの採用は216件，不採用281件(辞退，修正期限超過を含む)，修正中71件で，採択率はRegular Paperは49.87%，Case Reportは16.26%であった.
また，Rapid Communicationは，受付9件，採択4件，却下5件で，採択率は44.44%であった.
査読にはEditorial Boardを含め521名(12号掲載)がその任務にあたった.

(5) 2004年のImpact factorは，1.797であった.

(6) 『循環器専門医』Vol. 13 No. 1, Vol. 13 No. 2：専門医編集委員会より出版，B5判，和文誌.
(Circ. J. Vol.68 及び『循環器専門医』の刊行状況は後掲)

8. その他の事業報告

(1) ガイドライン作成
2003－2004年度活動の5班のガイドラインとそのダイジェスト版を公表し，第70回学術集会期間中に「ガイドライン解説」セッションおよび2005－2006年度活動の4班の「ガイドラインに学ぶ」セッションを開催した.

(2) 第69回学術集会コングレスレポートのホームページへの掲載
第69回学術集会における招請講演等のハイライトを日循ホームページ英語版で報告した.
(AHA，ESC，APCC での日循ブースにて日循英語 HP 紹介の CD-R を配布)

(3) 海外学会との共同シンポジウム等の実施
1) AHA：第78回AHAの正式プログラムの一部として，AHA/JCS共催のジョイント・セミナーを開催した.
2) APSC：Asian Pacific Society of Cardiology Workshop and Executive Council Meetingを開催した.

(4) 海外学会への日循広報ブースの出展
第78回AHA・第27回ESC・第15回APCCの展示会場にて，学会及び学術集会の広報ブースを設置した.

(5) 卒後教育研修用ビデオの製作・販売
学会員の知識，技能の向上に資するため，卒後教育研修用のビデオの企画・制作を行った.

(6) 禁煙推進活動
循環器疾患の予防と治療にとって重要である喫煙対策を学会として積極的に取り組んだ.
1) 情報発信のホームページの充実
2) 学会員及び循環器研修認定施設の喫煙の追跡実態調査
3) 第70回学術集会における医師向け第5回禁煙推進セミナー・禁煙推進のための第4回市民公開講座の開催
4) 喫煙防止教育用DVDの販売
5) 医療技術評価希望書の提出
6) 全国たばこ販売協同組合連合会への要望書の提出

(7) 第1回循環器専門医を志す研修医のための卒後セミナーの実施

(8) 診療報酬改訂希望書の提出
平成18年度に予定されている診療報酬の改訂について，各学会から希望書を取りまとめて，内保連を通じて厚生労働省に提出した.

(9) 循環器学用語合同委員会
日循が刊行している『循環器学用語集』改訂三版は，2006年夏発刊の予定である．今回の改訂では循環器学に関連する学会の協力を仰ぎ，各学会から代表委員を選んでいただき検討した.

(10) 心肺蘇生法普及活動
第70回学術集会期間中に，心肺蘇生法医師向けセミナー，心肺蘇生法市民公開講座を開催した．また各支部においてもAHA ACLSプロバイダーコースを開催した.

(11) 「医療倫理に関する講演会(主催：医療倫理委員会)」の開催
第70回学術集会期間中に「最近の医療訴訟における裁判所の傾向」をテーマに識者を招いて講演会を開催した.

(12) 心臓移植委員会活動
1) 第70回学術集会期間中に「植込み型補助心臓の現状と今後の課題」をテーマ

に第２回心臓移植セミナーを開催した．

２）「臓器提供意思表示カード」普及・啓発活動

昨年に続き，全国の大学・大学校・短期大学・警察学校および自衛隊各地方部隊合計1,410施設に「臓器提供意思表示カード」普及・啓発ポスター，カード，パンフレットおよび運転免許証貼付用シールを配布し，カード普及・啓発活動について各学校等に協力依頼をした．

⒀ AED普及検討

１）市民向けに「AED（自動体外式除再動器）についてのQ&A」を作成し，学会ホームページに掲載した．

２）硝酸貼付薬貼付場所についての提言を学会員，製薬業界，厚生労働省に対して行った．

３）心臓震盪についての調査依頼を消防庁に対して行った．

⒁ 循環器疾患診療実態調査

循環器疾患診療の実態調査を日本循環器学会の新規事業（主査：吉川純一先生(大阪市立大学)）として立ち上げ，全国の循環器疾患を扱っている病院に対しWEBベースで調査を開始した．

⒂ 学会の創設70年を記念する，歴史的記念資料の収集・保存事業は順調に進行．第70回記念学術集会で記念展示を行う．

⒃ 国際名誉会員

第70回学術集会にて国際名誉会員の表彰を行った．

⒄ 日本循環器学会ブースの出展

第70回学術集会の期間中，展示会場にて学会活動紹介のための日本循環器学会ブースを出展した．

9. その他の刊行物など

(1) Circulation Journal Vol.69 Supplement IV, 2005 循環器病の診断と治療に関するガイドライン（2003-2004年度合同研究班報告）

・循環器超音波検査の適応と判読ガイドライン（班長：吉川純一）

・心臓核医学検査ガイドライン(班長：玉木長良)

・禁煙ガイドライン(班長：藤原久義)

・心疾患患者の妊娠・出産の適応，管理に関するガイドライン(班長：中澤　誠)

・心臓突然死の予知と予防法のガイドライン（班長：相澤義房）

(2) 循環器研修ビジュアルシリーズ（VHS/DVD）
Vol.7「循環器病の画像診断－心臓CT，MRI」
Vol.8「大動脈・末梢血管疾患の超音波診断」

(3) 第１回循環器専門医を志す研修医のための卒後セミナー，テキスト

(4) 日循英語ホームページ紹介用CD-R(AHA，ESC，APCCブースにて配布)

(5) 禁煙推進のためのガイドブック：あなたにもできる禁煙ガイドPASSPORT to STOP SMOKING

(6) 禁煙推進のために，循環器疾患と喫煙に関する情報を一般市民にわかりやすく伝えるためのポスター

(7) 喫煙と循環器疾患に関する情報を一般市民にわかりやすく伝えるための動画(心筋梗塞編・末梢血管疾患編）をホームページ上で公開．

(8) 喫煙防止教材DVD：今から始める喫煙防止教育

Circ. J. Vol. 69 刊行状況

原著論文			学術集会記録 他			本文頁数計
	論文数	頁数	抄録数	頁数	その他頁数	
Circ. J.（英文誌）						
No. 1	26	129	−	−	5	134
2	24	127	−	−	5	132
3	21	115	−	−	3	118
4	26	140	−	−	4	144
5	19	110	−	−	2	112
6	25	141	−	−	5	146
7	17	108	−	−	2	110
8	25	133	−	−	5	138
9	27	148	−	−	4	152
10	26	140	−	−	4	144
11	22	133	−	−	5	138
12	23	140	−	−	60	200
小計	281	1,564	−	−	104	1,668
Supplement（和文誌）						
Ⅰ	−	−	2,470	634	130	764
Ⅱ	−	−	1,014	119	1	120
Ⅲ	−	−	956	117	1	118
Ⅳ				439	5	444
小計	−	−	4,440	1,309	137	1,446
合計	281	1,564	4,440	1,309	241	3,114

『循環器専門医』刊行状況（専門医制度委員会）

Vol.13 No.1	156	44	200
Vol.13 No.2	175	45	220
計	331	89	420